

2009 年度秋学期 チューター業務を振り返って

所 属

社会学部

社会福祉学科

担当科目

社会福祉学基礎演習 I

<秋学期を振り返ってのまとめ 仕事内容・気づいたこと・感想 など>

まず春学期ではレポートの作成方法を学んだり、グループでの発表を行ったので今学期ではさらに発展して個人での発表という形をとりました。それぞれ個人の興味ある話題について各自で調べ、20分をめぐりに発表を行いました。そして最後にディスカッショントピックスを提案し、4、5人のグループで意見を出し合い、互いに発表し合うことでさらに知識を深めました。

発表を聞いていて最も印象的だったのは1年生の吸収力の高さでした。特に春学期では資料の引用が多かった一方で、今学期ではさらにそこから派生した問題点を自分で調べたり、自分なりの解決策を模索することができるようになりました。私たちチューターや、先生方が指導することももちろん大切ですが、一年生同士で学び合い、いい影響を受けることができる環境を提供できたことが大きな成果だったと思います。

授業時間が1限目ということもあり、遅刻してくる人も中にはいましたが先生や私の呼びかけにも素直に応えてくれ、とてもやりやすかったです。

私自身の感想としては、このような環境を作っていただいたことにとても感謝しています。まず、1年生が純粋に課題に取り組んでいる姿を見ていると私も4年生として学ばなければならないことがたくさんありました。特に、知らないことを知りたいという強い好奇心を感じ、改めて「知ることは楽しいこと」だと思いました。また、先生方にも大変お世話になりました。普段は授業を受ける側の視点しか見ることができませんが、今回の経験を通していかに分かりやすく、また受ける側の好奇心をかきたてるにはどのような方法がベストなのかということを探求していく姿勢はとても学ぶものが大きかったです。最後に、事務室の黒田さん、西脇さんにもチューター業務をサポートしていただき、気持ちよく取り組むことができたことに感謝しています。

卒業を前に、改めて大学に通うということはたくさんの人の協力の上に成り立っているのだと強く感じる事ができたことが最も大きな成果だったのではないかと感じています。

<今後のチューターまたは先生への提案>

ぜひ今回のようなチューターをこれからも続けていってもらいたいと思います。1年生、4年生、先生方ともにより影響を受けることができると思います。

改善すべき点については現在特に見当たりませんが、今年1年取り組んでみて大まかな流れができたので、来年からも取り組みつつ適宜柔軟に対応していければよいと思います。